

メッセージ概要

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	ピリピ 4:1-7
賛美	その時若い女も (ppt 24) ミクタム12
使徒信条	会衆一同
交読文	44
賛美	目を上げよ(ppt8 ミクタム70)
メッセージ	いのちから遠ざける「人の言い伝え」
祈り	
賛美	イエスは勝利を取られた (ppt 18 ミクタム86)
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	会衆一同
報告	

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- 主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

祝福の御言葉 空欄に自分の名前を入れて祈りましょう

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。(2コリント 5:17)

イエス・キリストを受け入れた人々、すなわち、その名を信じた には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。(ヨハネ 1:12,13)

はバプテスマによってキリストと共に葬られ、またキリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストと共によみがえらされたのです。(コロサイ 2:12)

の主・イエスキリストの名前によって。 アーメン！

バプテスマのヨハネも、イエス様も、パリサイ人を「まむしの子」と呼んだ。(マタイ 3:7、23:33) まむしとは噛まれれば死に至る毒蛇であるが、なぜパリサイ人達は「まむしの子」と呼ばれたのか。まむしはサタンを意味する最たる動物だが、彼らは人を福音から遠ざける事に、非常に役立っていた。彼らは膨大な良い悪いの基準を押し付け、安息日が安息の日でなく重苦しい日、重荷の日と思わせるほど、色々な「言い伝え」によって付け足してきた。

律法の要求するレベルは誰にも到達し得ない。律法は神の要求には人間は誰も答えられない事を教え、そうしてキリストへと導く養育係のようなものである。それなのにパリサイ人達は、律法を全て守りきれない事の言い訳をするために、神様から求められてもいない別の戒めや規則を「言い伝え」として作り、それを一生懸命守り行う事によって、全ての律法を守りきれない「やましさを補填している。イザヤ 28:9-13 には戒めに戒めを加える者達の様子が書かれてある。彼らは乳離れした子、乳房を離された子に教えようとしているのか、と主は質問しているが、純粋なみことばの乳(1ペテロ 2:2)を離れて、戒めや規則の迷路に迷い込んではいならない。主は人にいこいを、疲れた者には休みを与えたかったのに、それでも戒めや規則に迷い込もうとする者はうしろざまに倒れ、手足を折られ、わなにかかかって捕らえられてしまう。(13節)

パリサイ人は、人間の言い伝えによって逆に御言葉から人を遠ざけて人間中心の教えへ誘い込み、結果イエスからも人を遠ざけさせ、滅びに至らしめるから、イエスやヨハネに「まむし」呼ばわりされたのである。人は「言い伝え」や「言い訳」を大々的に喧伝し、神の要求を守れない事の「しょうがなさ」へと持っていこうとするが、神が目を留めるのは、あくまで御言葉を「守ったか、守っていないか」である。律法を守り切るのは人にはできない。しかし、神にはできない事は無い。律法を妥協したり意識的に逆らうのではなく、律法を守れない自分を認め、救いが必要である事を告白し、律法を成就された主イエスを信じ、そのイエスの内に入れられ、全く新しいいのちを歩むべきである。

宗教という言葉の響きに窮屈さ、いかがわしさといった不健全なイメージが付きまとうのは、宗教を信じている人達が、何らかの理想を固守し、いのちの望むまま生きる事ができない事例を多く見ているからだ。キリストを信じた者達は、キリストを信じた事により、生まれながらの古いいのちが死んで、全く新しいいのちに生まれ変わった、神の子としての新しいいのちの内へ歩む者達である。(ヨハネ 1:12,13) 古い命では本能的に罪を犯してしまい、良い事は努力しなくてはできなかったものが、新しいいのちでは、罪を犯す事を本能的に嫌がり、ごく自然に良い事をしてしまうようになる。それは、信じる者にはキリストのいのちが種のように蒔かれ、キリストの性質を帯びるようになるからである。そのいのちは宗教者の不自然さ、無理矢理さは無く、夜は寝て、朝は起き、そうこうしているうちに育つ。どのようにしてか、人は知らないが、苗となり、穂を結び、実が熟する。(マルコ 4:26-29) 神の国は自分の生来的な力の頑張りでは決して育たず、ただキリストのいのちの原動力によるのである。

主イエスが来られたのは、疲れた者、重荷を負っている者を休ませてあげるためであって、さらに重荷を負わせ難い事を要求するためではない。(マタイ 11:28) もしイエスを信じた事によって重荷を負っているような感覚、難しい事を要求されているような疲れを覚えているなら、宗教的・人間的な頑張りをしていなかったか、自分の歩みを振り返る必要がある。イエスは心優しくへりくだっているが、自分の力で神の要求する歩みを為そうとするのは、傲慢である。イエスとくびきを負い、イエスと歩調を合わせて一緒に歩めば、たましいに安らぎを得る事ができるのである。主と共に負うくびきは負いやすく(χρηστός クレーストス: 快い、楽、恵み深い、優しい) 荷は軽い。(11:30)

イエスと共なるいのちの歩みは、軽く、快く、ラクで、恵み深く、優しいのである。

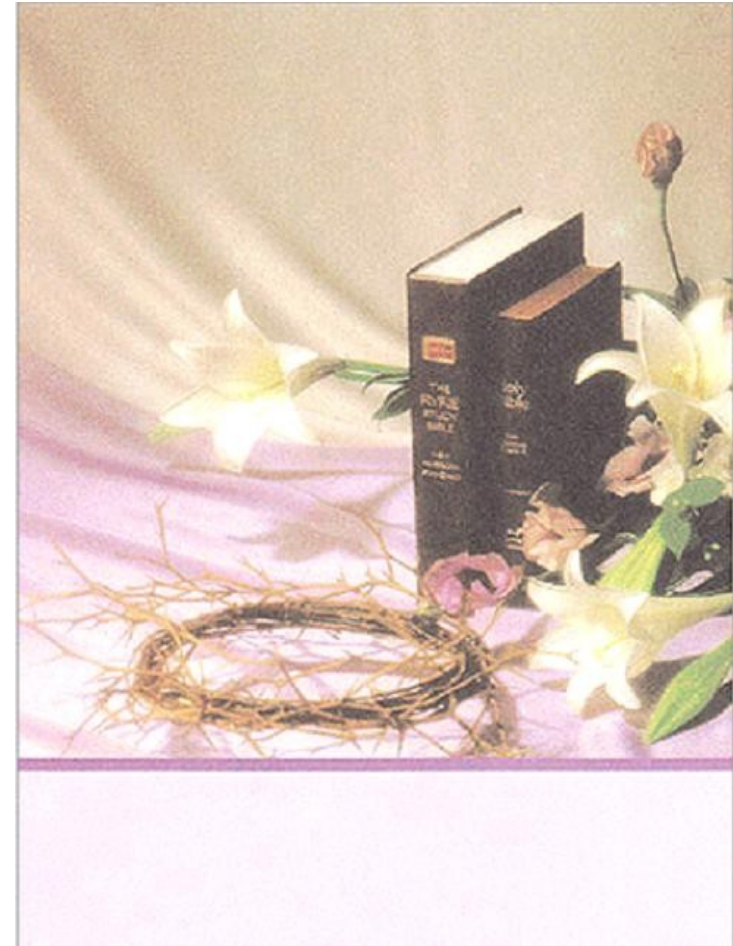
お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

No.38

2010年 9月26日

天声教会

1部礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

- 1部(日本語) 10:00
- 2部(韓国語) 11:00
- 食事/フェローシップ 12:00~
- 3部(韓国語 日本語通訳あり) 14:00

集会

- 月~金 早天祈祷会 5:00~
- 火~木 夜の祈祷会 20:00~

水曜集会

- 1部(韓国語 日本語通訳あり) 13:00~
- 2部(日本語) 19:30~

金曜徹夜祈祷会 21:00~

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番出口より徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-r@yahoo.co.jp